

令和4年度石橋地区消防組合一般会計歳入歳出決算概要

1 決算収支の状況

令和4年度一般会計歳入歳出決算は歳入2,257,851,032円、歳出2,185,785,300円となりました。歳入から歳出を差し引いた額は、72,065,732円で、令和5年度へ繰り越しました。

また、令和4年度は翌年へ繰り越すべき財源はありませんでしたので、実質収支額についても72,065,732円となりました。

決算収支の前年度との対比は、表1のとおりです。

<表1> 令和4年度一般会計決算収支の状況

(単位：円)

区 分	令和3年度	増減額	令和4年度	増減率
歳入決算総額	2,599,786,847	▲ 341,935,815	2,257,851,032	▲13.15%
歳出決算総額	2,514,792,253	▲ 329,006,953	2,185,785,300	▲13.08%
歳入歳出差引額	84,994,594	▲ 12,928,862	72,065,732	▲15.21%
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	±0
歳入歳出差引額	84,994,594	▲ 12,928,862	72,065,732	▲15.21%

2 歳入決算の状況

歳入予算総額2,257,067,000円に対し、収入済額は2,257,851,032円で調定率100.03%です。

歳入決算の前年度との対比は、表2-1のとおりです。

<表2-1> 令和4年度一般会計歳入決算の状況

(単位：円)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減率 (A-B)/B
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	
分担金及び負担金	2,029,988,000	89.91%	2,037,534,000	78.37%	▲0.37%
使用料及び手数料	2,225,700	0.10%	3,043,350	0.12%	▲26.87%
国庫支出金	0	0.00%	78,573,775	3.02%	—
財産収入	1,460,324	0.06%	2,969	0.00%	49,085.72%
寄附金	0	0.00%	0	0.00%	—
繰入金	0	0.00%	21,680,000	0.83%	▲100.00%
繰越金	84,994,594	3.76%	100,361,193	3.86%	▲15.31%
諸収入	3,982,414	0.18%	5,791,560	0.22%	▲31.24%
組合債	135,200,000	5.99%	352,800,000	13.57%	▲61.68%
歳入合計	2,257,851,032	100.00%	2,599,786,847	100.00%	▲13.15%

以上、表2-1のとおり、分担金及び負担金の構成比が89.91%と歳入決算総額の大半を占めており、本年度2,029,988,000円で、前年度2,037,534,000円に対し7,546,000円の減額となりました。

分担金及び負担金の内訳としては、当組合の構成市町である下野市、壬生町、上三川町の1市2町からの負担金となっております。

構成市町からの負担金割合は表2-2のとおりです。

<表2-2> 構成市町負担金割合の状況

(単位：円)

構成市町	負担金額	構成比
下野市	922,654,000	45.45%
壬生町	603,429,000	29.73%
上三川町	503,905,000	24.82%
合計	2,029,988,000	100.00%

3 歳出決算の状況

歳出予算総額 2,257,067,000 円に対し支出済額は 2,185,785,300 円で、不用額は 71,281,700 円、執行率 96.84%（前年度執行率 96.67%）です。また、世界的なエネルギー価格の高騰に伴い、光熱水費、燃料費の充当として、2 款 1 項 1 目へ 1,000,000 円、3 款 1 項 1 目へ 500,000 円を予備費から充用しております。なお、一般会計決算では、款別の歳出を、目的別と性質別に分類しています。

(1) 目的別に分類した歳出の状況

歳出を目的別に見ると、消防費（78.80%）、総務費（12.69%）、公債費（7.50%）、民生費（0.99%）、議会費（0.02%）の順となっています。歳出目的別決算の前年度との対比は、表 3-1 のとおりで、消防費が構成比 78.80%と目的別歳出の大半を占めており、主な内訳は職員給与等、消防車両の更新、職員育成負担金となります。職員育成負担金は人材育成のため、栃木県消防学校、救急救命士研修所等の派遣に係る研修経費です。

<表 3-1> 令和 4 年度一般会計歳出目的別決算の状況

区 分	令和 4 年度		令和 3 年度		増減率 (A-B) / B
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	
議 会 費	540,092	0.02%	538,410	0.02%	0.31%
総 務 費	277,281,386	12.69%	176,265,791	7.01%	57.31%
民 生 費	21,610,000	0.99%	21,315,000	0.85%	1.38%
消 防 費	1,722,465,077	78.80%	2,129,453,229	84.68%	▲19.11%
公 債 費	163,888,745	7.50%	187,219,823	7.44%	▲12.46%
歳 出 合 計	2,185,785,300	100.00%	2,514,792,253	100.00%	▲13.08%

各項目（目的別）の主な歳出は次のとおりです。

<議会費>

◎特別職（議員）報酬 535,292 円

<総務費>

◎感染防止対策事業 101,200,000 円

◎消防本部補助訓練塔修繕 16,698,000 円

<民生費>

◎職員児童手当 21,610,000 円

<消防費>

◎給料、職員手当等、共済費 1,500,259,652 円

◎上三川署消防ポンプ自動車 55,220,000 円

◎石橋署高規格救急自動車

41,800,000円

<公債費>

◎元金

160,710,612円

(2) 性質別に分類した歳出の状況

歳出を性質別に見ると、人件費(68.68%)、公債費(7.50%)、物件費(7.27%)、維持補修費(6.64%)、普通建設事業費(4.82%)、積立金(3.51%)、扶助費(0.99%)、補助費等(0.59%)の順となっています。歳出性質別決算の前年度との対比は、表3-2のとおりです。性質別歳出では義務的経費(77.17%)、その他の経費(18.01%)、投資的経費(4.82%)の順となっています。

投資的経費は普通建設事業費で、上三川署消防ポンプ自動車更新事業55,220,000円、石橋署高規格救急自動車更新事業41,800,000円等です。また、人件費の構成比が68.68%で歳出性質別決算の大半を占めており、本年度1,501,096,876円で、前年度1,448,693,567円に対し52,403,309円の増額となりました。

人件費の内訳は、表3-3のとおりです。人件費1,501,096,876円の中でも職員給は1,153,749,327円で人件費総額の76.86%を占めています。

<表3-2> 令和4年度一般会計歳出性質別決算の状況

性質別歳出

(単位:円)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減率 (A-B)/B
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	
人 件 費	1,501,096,876	68.68%	1,448,693,567	57.61%	3.62%
扶 助 費	21,610,000	0.99%	21,315,000	0.85%	1.38%
公 債 費	163,888,745	7.50%	187,219,823	7.44%	▲12.46%
義務的経費 小計	1,686,595,621	77.17%	1,657,228,390	65.90%	1.77%
普通建設事業費	105,462,940	4.82%	580,669,395	23.09%	▲81.84%
投資的経費 小計	105,462,940	4.82%	580,669,395	23.09%	▲81.84%
物 件 費	158,942,810	7.27%	168,280,666	6.69%	▲5.55%
維 持 補 修 費	145,168,579	6.64%	56,383,041	2.24%	157.47%
補 助 費 等	12,799,804	0.59%	14,501,792	0.58%	▲11.74%
積 立 金	76,815,546	3.51%	37,728,969	1.50%	103.60%
その他の経費 小計	393,726,739	18.01%	276,894,468	11.01%	42.19%
歳 出 合 計	2,185,785,300	100.00%	2,514,792,253	100.00%	▲13.08%

<表3-3> 令和4年度人件費内訳の状況

(単位：円)

区 分	決算額	構成比
1 議員報酬	535,292	0.04%
2 管理者等報酬	188,932	0.01%
3 監査委員報酬	52,000	0.01%未満
4 その他報酬	-	-
5 職員給	1,153,749,327	76.86%
(1) 給料	675,594,641	
(2) 職員手当等	478,154,686	
ア 扶養手当	29,195,409	
イ 管理職手当	9,436,800	
ウ 時間外勤務手当	23,345,723	
エ 休日勤務手当	64,304,420	
オ 夜間勤務手当	16,633,652	
カ 住居手当	11,630,900	
キ 通勤手当	13,552,700	
ク 期末・勤勉手当	266,060,122	
(ア) 期末手当	144,276,981	
(イ) 勤勉手当	121,783,141	
ケ 管理職特別手当	164,000	
コ 地域手当	35,733,960	
サ 特殊勤務手当	8,097,000	
6 地方公務員共済組合等負担金	234,809,698	15.64%
(1) 市町村共済組合負担金	233,879,501	
(2) 再任用 健康保険・年金	872,147	
(3) 再任用 雇用保険料	58,050	
7 退職金(退職手当負担金)	108,895,669	7.25%
8 災害補償費	2,804,958	0.19%
(1) 公務災害補償基金負担金	2,609,309	
(2) 補償基金前年度追加費用	195,649	
9 職員互助会補助金(親睦会補助)	61,000	0.01%未満
合 計	1,501,096,876	100.00%

4 財産に関する調書

令和4年度末現在、石橋地区消防組合が所有する財産、銀行等から借り入れている地方債等は次のとおりです。

(1) 不動産（建物及び工作物）、土地の状況

消防組合が保有している建物、工作物及び土地の状況です。

不動産（建物及び工作物）、土地の前年度との対比は、表4-1、表4-2のとおりです。

<表4-1> 不動産（建物及び工作物）の状況

(単位：㎡)

署 所 別	令 和 3 年 度 末		増 減		令 和 4 年 度 末	
	建 物	工 作 物	建 物	工 作 物	建 物	工 作 物
消防本部・石橋消防署	4,670.44	24.48	±0	±0	4,670.44	24.48
壬 生 消 防 署	1,348.25	24.48	±0	±0	1,348.25	24.48
上 三 川 消 防 署	1,280.79	21.25	±0	±0	1,280.79	21.25
合 計	7,299.48	70.21	±0	±0	7,299.48	70.21

<表4-2> 土地の状況

(単位：㎡)

署 所 別	令 和 3 年 度 末 土 地 現 在 高	増 減	令 和 4 年 度 末 土 地 現 在 高
消防本部・石橋消防署	13,785.77	±0	13,785.77
壬 生 消 防 署	3,335.66	±0	3,335.66
上 三 川 消 防 署	4,687.53	±0	4,687.53
合 計	21,808.96	±0	21,808.96

(2) 有価証券の状況

有価証券はありません。

(3) 物品（車両、通信機器等）の状況

消防組合で所有している財産のうち、車両や通信機器等の物品状況です。緊急性や必要性に応じて、計画的な整備、更新を図っています。

物品（車両、通信機器等）の前年度との比較は表4-3のとおりです。

<表4-3> 物品（車両、通信機器等）の状況

分 類		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
備 品				
事務用品	事務用機械器具類	0	1	1
事業用品	車 両 類	37	▲1	36
	船 類	0	2	2
	衛生機械器具類	5	▲3	2
	計 器 類	0	3	3
	通 信 機 具 類	129	32	161
	消 防 機 械 器 具 類	0	81	81
	医療及び機械器具類	1	▲1	0
	重量物排除用器具類	2	▲2	0
	切 断 用 器 具 類	4	▲4	0
	その他の救助用器具類	1	▲1	0
	一般救急用器具類	1	▲1	0
	救急車積載用器具類	7	▲7	0
	その他消防用器具類	3	▲3	0
雑 用 品	非 常 用 具 類	0	1	1
	厨 房 品 類	0	1	1

備考 石橋地区消防組合財務規則第123条第3項に規定する、取得価格が50万円以上の重要物品の数を表しています。

また、車両類36台の内訳は別紙を参照してください。

(4) 財政調整基金の状況

消防車両の更新や消防庁舎の改修などに必要となる財源の不足に備えるため、財政調整基金を設置し、消防組合の財政の健全な運営を図っています。

財政調整基金の前年度との比較は、表4-4のとおりです。

<表4-4> 財政調整基金の状況

(単位：円)

区 分	令和3年度末現在高	増 減	令和4年度末現在高
現 金	177,418,224	76,815,546	254,233,770

(5) 一時借入金の状況

一時借入金はありません。

(6) 組合債の状況

消防組合が借り入れた地方債の現在高と元利償還金の状況は、表4-5のとおりです。

<表4-5> 組合債の状況

(単位：円)

借入先別	令和3年度末 現在高 A	令和4年度中 借入額 B	元利償還額		令和4年度末 現在高 A+B-C
			元金 C	利子	
地方公共団体金融機構	0	101,100,000	0	97,499	101,100,000
足利銀行	87,928,029	34,100,000	43,928,672	141,532	78,099,357
栃木銀行	133,776,138	0	38,928,724	485,927	94,847,414
J A 宇都宮	321,080,902	0	71,440,370	1,804,449	249,640,532
J A 小山	353,491,145	0	4,325,373	639,035	349,165,772
足利小山信用金庫	2,087,473	0	2,087,473	9,397	0
全国自治協会	5,800,000	0	0	294	5,800,000
組合債合計	904,163,687	135,200,000	160,710,612	3,178,133	878,653,075

5 住民の負担の状況

令和4年度末現在及び前年同期における歳出予算現額及び支出済額に対する管内住民一人あたり、一世帯あたりの負担の状況は表5のとおりです。

<表5> 住民の負担の状況

区分	前年同期 A R4. 3. 31 現在	比較 (B-A)	令和4年度末 B R5. 3. 31 現在	比率 (B/A)
管内人口	129,690 人	▲ 616 人	129,074 人	99.53%
管内世帯数	53,450 世帯	230 世帯	53,680 世帯	100.43%
住民一人あたり負担額	20,058.16 円	▲ 2,571.55 円	17,486.61 円	87.18%
一世帯あたり負担額	48,668.72 円	▲ 6,622.02 円	42,046.70 円	86.39%
歳出予算現額	2,601,343,000 円	▲ 344,276,000 円	2,257,067,000 円	86.77%
住民一人あたり負担額	19,390.80 円	▲ 2,456.44 円	16,934.36 円	87.33%
一世帯あたり負担額	47,049.43 円	▲ 6,330.63 円	40,718.80 円	86.54%
支出済額	2,514,792,253 円	▲ 329,006,953 円	2,185,785,300 円	86.92%

別紙

<表4-3>車両類の内訳

所属	車両名称		合計台数
消防本部	公用車	人員輸送車	7台
	総務連絡車	警防機動車	
	予防車	査察車	
	防災活動車		
石橋消防署	指揮車	支援車	17台
	石橋梯子車	救助工作車	
	重機	重機搬送車	
	石橋タンク車	石橋化学車	
	石橋ポンプ車	資器材搬送車	
	石橋救急1	石橋救急2	
	石橋連絡車	ボートトレーラー	
	予備タンク車	予備救急	
	旧上三川ポンプ車		
壬生消防署	壬生タンク1	壬生ブーム1	6台
	壬生ポンプ車	壬生救急1	
	壬生救急2	壬生連絡車	
上三川消防署	上三川タンク車	上三川ポンプ車	6台
	上三川救急1	上三川救急2	
	上三川連絡車	ボートトレーラー	

備考 網掛けになっている車両類については、令和4年度中に納車されたものです。